

会議概要

会議の名称	第3回久喜市生涯学習推進会議
開催年月日	令和5年3月6日(月)
開始・終了時刻	午前10時00分 から 午前11時40分
開催場所	鷲宮総合支所5階 生涯学習施設「まなびすと教室」
議長氏名	宮内 智(久喜市生涯学習推進会議議長)
出席委員(者)氏名	明石實正、伊東堯司、井上日出子、今村望太郎、入江講児、折原憲司、影山悦夫、加村和夫、木村寿雄、桐原宏、坂本仁志、佐藤敏江、杉村榮一、高橋久江、中村喜美子、野口和子、宮内智、諸橋美津子、山崎敏子
欠席委員(者)氏名	後藤悦子
説明者の職氏名	小森谷修生涯学習課長、渡辺充範生涯学習課課長補佐、鈴木亮生涯学習課係長
事務局職員職氏名	小森谷修生涯学習課長、小林幸司生涯学習課主幹、渡辺充範生涯学習課課長補佐、鈴木亮生涯学習課係長、白石昌子生涯学習課主任
会議次第	(1) 第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)(案)について (2) 第11回生涯学習推進大会「まなびすと久喜」について
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1 第2次久喜市生涯学習推進計画(久喜市まなびすとプラン2)(案) ・資料2 第2次久喜市消防学習推進計画(久喜市まなびすとプラン)(案)に対する意見募集の実施結果 ・資料3 第11回生涯学習推進大会「まなびすと久喜」について ・久喜市生涯学習だより「まなびすと久喜 第24号」
会議の公開又は非公開	公開
傍聴人数	0人

審議会等会議録

発言者・会議のてん末・概要

小林主幹 皆様おはようございます。定刻になりましたので、ただいまから第3回久喜市生涯学習推進会議を開催いたします。私は、司会を務めさせていただきます生涯学習課の小林と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

委員の皆様方には、本日は公私とも大変お忙しい中、当会議にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。本日の出席者でございますが、現在のところ19名でございます。この人数は、久喜市生涯学習推進会議条例第5条第2項の規定に基づきまして、委員の過半数の出席でありますので、当会議が成立することをご報告いたします。

なお、後藤委員からは出席のご連絡をいただいているところですが、まだお見えになっていないようですので、見えられ次第、ご案内をさせていただきますと思います。

続きまして、会議に移る前に2点、皆様にご了承いただきたいことがございます。

1点目は会議の進め方等についてでございます。久喜市審議会等の会議の公開に関する条例に基づき、会議は原則公開とさせていただきます。公開の会議につきましては、傍聴の希望者がいれば認めることとしております。なお、本日の傍聴者は現在のところおりません。

2点目は、会議録の作成についてでございます。

会議録は、概ね1ヶ月以内に公文書館への配架及び市ホームページで公開することとしております。会議録作成のため、録音させていただきます。この録音の際に音声を拾いやすいように、発言の際にはマイクを使用させていただきますようご協力をお願いいたします。事務局職員が発言する方のもとにマイクお持ちいたしますので、発言はマイクが到着するまでお待ちください。

次に、本日の資料のご確認をさせていただきます。本日の会議資料でございますが、次第、資料1 第2次久喜市生涯学習推進計画（久喜市まなびすとプラン2）（案）、資料2 第2次久喜市生涯学習推進計画（久喜市まなびすとプラン2）（案）に対する意見募集の実施結果、資料3 第11回生涯学習推進大会「まなびすと久喜」について、久喜市生涯学習だより「まなびすと久喜 第24号」、久喜市市民大学29期生 まなびすとカレッジ新入生募集のチラシ、久喜市高齢者大学スマイルキャンパス 第45期生を大募集のチラシ。以上7点でございます。

もしお手元がない方がいらっしゃいましたら、事務局までお申し出いただきたいと存じます。よろしいでしょうか。

<資料不足の声なし>

小林主幹 それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。
まずはじめに、宮内議長からごあいさつをいただきたいと存じます。よろしくお願いたします。

宮内議長 <宮内議長あいさつ>

小林主幹 ありがとうございます。
続きまして、生涯学習課長の小森谷からごあいさつを申し上げます。

小森谷生涯学習課長 <小森谷生涯学習課長あいさつ>

小林主幹 それでは、議事に入らせていただきます。

議事の進行につきましては、久喜市生涯学習推進会議条例第5条第1項の規定により、宮内議長にお願いをいたします。

宮内議長

皆様にご協力いただき、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。
それでは議事に移ります。はじめに、第2次久喜市生涯学習推進計画（久喜市まなびすとプラン2）（案）について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局（鈴木）

はい。皆様こんにちは。生涯学習課の鈴木と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは私から、第2次久喜市生涯学習推進計画 久喜市まなびすとプラン2の案につきまして、ご説明をさせていただきます。それでは着座にて失礼いたします。

資料が前後しますが、はじめに資料2をご覧ください。こちらは第2次久喜市生涯学習推進計画 久喜市まなびすとプラン2の案に対する意見を募集した、市民意見提出制度 パブリックコメントの実施結果についてでございます。令和5年1月20日から2月19日まで、市民意見提出制度 パブリックコメントを実施しました。こちらは広報くき1月号や市のホームページで周知を行い、また、市内24ヶ所の公共施設にある市民参加コーナーに配架をしまして、市民の皆様からの意見を募集しました。その結果、特に意見はございませんでした。

その後、パブリックコメントの結果を受けて2月24日実施の第6回検討部会、そして3月1日実施の生涯学習推進会議幹事会で委員の皆様にご報告させていただきました。

続きまして資料1をご覧ください。こちらが、第2次久喜市生涯学習推進計画 久喜市まなびすとプラン2の案になります。

こちらにつきましては、前回12月15日の会議の際に、一度ご説明させていただきましたので、今回は変更点をお伝えさせていただきます。

大きな変更点としまして、1つ目が生涯スポーツ推進のまち・久喜市を目指している「第2期久喜市スポーツ推進計画」を考慮した内容にしたこと。2つ目が久喜市総合振興計画との整合性を図るため、基本方針を「だれもが住みやすいまち」としたこと。そして3つ目が中央公民館の令和5年度からのコミュニティセンター化に伴い、表記や内容をコミュニティセンターに変更したこと。以上3つが大きな変更点になります。

それでは計画の1ページをご覧ください。こちらの「生涯学習」とは、の部分でページ中ほどの図ですが、スポーツ・レクリエーション活動、文化活動、ボランティア活動、企業内教育及び趣味等と順番を変えさせていただいております。

続きまして、7ページをご覧ください。こちらは「生涯学習を取り巻く国・県および市の動向」になります。市の動向の部分で、第2期久喜市スポーツ推進計画を記載させていただきました。令和2年3月8日に、久喜市「健幸スポーツ都市宣言」を行い、スポーツを通じた健康のまちづくりを目指していることを追加しました。

8ページからの第2章については変更ございません。

続きまして、12ページからの第3章については、13ページの②番、久喜市市民大学の愛称である「まなびすとカレッジ」、③番、久喜市高齢者大学の愛称である「スマイルキャンパス」、この2点を用語説明の部分に追加しました。

続きまして、14ページになります。「2 基本方針」の（3）について、冒頭に申し上げましたとおり、久喜市総合振興計画との整合性を図るため、「だれもが住みやすいまち」という表現を使いました。元々、「ふるさと久喜」という表現を使っていましたが、「だれもが住みやすいまちをつくる」という表現に変更しました。

続きまして、17ページからの「第4章 基本目標の展開」になります。こちらにつきましては、関係各課等の事業等が表記されておりますが、この部分を市

の組織の順番である建制順にしました。また、先ほどお話ししました中央公民館が、来年度からコミュニティセンターに変わる予定でございますのでそちらを変更し、新たに、令和5年度から生涯学習課に公民館事業推進室が設置されますので、公民館事業については生涯学習課が関係課となるよう表現を変更させていただいております。

続きまして、22ページです。障がい者の学びの推進の項目でございます。こちらにつきましては、新たにスポーツ振興課の「ふれあいスポレク・フェスタ」を追加しております。

また、23ページの「施策3 社会的課題や市民ニーズに応じた学びの充実」の説明部分2行目にヤングケアラー、LGBTQ+を追加し、併せてページ下部に用語の説明を追加記載しております。

続きまして、24ページです。「環境問題」に関する学びの推進について、令和3年4月22日に本市がゼロカーボンシティを宣言したことを踏まえ、「ゼロカーボン」の語彙を追加しました。

続きまして、26ページです。「スポーツ・レクリエーション活動」の推進についてでございます。これまでは「各種スポーツ・レクリエーション大会」として、具体的な事業名は記載していませんでしたが、改めて具体的な事業名である「くき健康ウォーク」「スポーツ体験イベント」「スポーツ情報の発信」や「ふれあいスポレク・フェスタ」を追加いたしました。

続きまして、30ページになります。「学習意欲の向上」の項目になります。こちらにも先ほどの「くき健康ウォーク」「スポーツ体験イベント」「ふれあいスポレク・フェスタ」を追加しております。

これらが主な変更点となり、これ以降のページにつきましては大きな変更点等はありません。委員の皆様にもご理解いただきまして、今月中にこちらの計画の策定を目指して進めてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。以上です。

宮内議長

はい。ありがとうございます。今、事務局の方から説明がございました。前回お配りしました案から変更になったところをご説明いただきました。皆様から何かご質問ご意見がございましたらお願いしたいと思います。野口委員。

野口委員

今、説明を受けただけで言いたいことがまだまとまっていないのですが、スポーツ推進計画の基本理念で「いつでも・どこでも・だれでも・いつまでもスポーツを」楽しめるまちを目指すとあります。私も3年ぐらい前から、ママさん卓球といいますが、70代の方で卓球クラブを立ち上げてまして活動しております。菖蒲の農業者トレーニングセンターがなくなりまして、そこでやっていたスポーツ、特に卓球の活動場所の行き場がなくなってしまい、今は菖蒲の労働会館の2階の会議室を利用して卓球をしております。詳しくはわからないのですが、トレセンがなくなったことでそこにあった卓球台がいろんなところに配られたと聞いております。

スポーツを労働会館でやることになったようなので、私たちもそこで今やっているのですが、あそこは元々スポーツをやる場所ではないので、近所からうるさいと苦情もきますし、カーテンを全て閉めて大きな声を出さないようにやっている状態です。あとは皆さんご存知のように、3ヶ月前からネットで施設の予約をとるのですが、それも取りにくくなって本当に苦労しています。私たちも週に1度、決まった日の決まった時間にやるのが普通だと思っておりました。ただ、卓球チームが増えている中で、施設予約の競争でそれもできなくなって、午前中だったり、違う曜日となったり、8時半になったらインターネットで必死に取らなくてはいけないので、私たち主婦はドキドキしています。私が場所を予約しているのですが、本当に大変な苦労をして、それでも取れない時があります。

久喜市の他のサークルでも場所を取りにくいという話を聞きます。私も初めてスポーツをやることになって実感したので、トレセンがなくなったこともあるし、そういったことで、私達みたいなサークルがスポーツをできる施設とい

うのがどのような状況になっているのか。非常に多くの卓球クラブが入り出すようになって、そうすると菖蒲地区だと森下公民館と労働会館しかないのですよね。施設の担当課に私も行って、同じチームが同じ週に4回も5回も取るのはいかかなものかと聞きましたら、規約がないので先に取ったもの勝ちだとのことでした。抽選なども考えてもらいたくなって訴えてきました。まとまらなくて、すみません。こういう機会がたまたまあり、私も疑問に思っていましたから言わせていただきました。

宮内議長

ありがとうございます。今、お話のように、スポーツ・レクリエーション活動についてですが、今、私の聞いている話ですと久喜市にありますプールや第2体育館を改装するような話を聞いております。場所がなくなっているというのは大変だと思いますので、スポーツについてこのように謳っている限りは、そういう施設はもっと充実していただかなければいけないです。それと、今の施設が取りにくいというお話がありましたが、私も別に会議をやっております、他の方が予約を取っているのですが、なかなか申し込んでも取れないとのことでした。今の野口委員のお話ですが、場所等については、私からは何とも言えないので、スポーツを推進していくのであれば、施設をいつでもだれでも使えるようにしていただかないといけないと市の方をお願いしたいと思います。

他にいかがですか。影山委員。

影山副議長

マスクをしていると聞こえづらいので、大変恐縮ですが、マスクを外させていただきます。先ほどご質問のご意見の中で、関連している部分があったので、お話をさせていただきたいと思います。昨日、三郷市で埼玉県の社会体育研究大会というものがあつた、昨日は埼玉県の東部地区の発表会でした。共通して発表していたのは障がい者に対するスポーツの取り組みでした。吉川市と行田市が発表の中心でしたが、吉川市の場合は、年齢構成、地域別人口、例えば、久喜市で言えば旧久喜、菖蒲、栗橋、鷲宮の人口など年齢別の分析をして、どのような施設を作るとか、どのような要望があるかを分析して発表しておりました。吉川市はもう施設をつくる必要がないというご意見が多かつたそうです。それよりも内容の充実について、質問がありました。

今、施設の予約が取りづらいという話がありましたが、よく聞く話です。その辺は市全体で考えていかないと、健幸スポーツ宣言都市も掛け声だけで終わってしまうのではないかなと思うのです。私もスポーツ関係の団体に所属しているのですが、私たちは市とタイアップしているので、施設が取れなかつたということは正直ないです。ただ、話を聞くとスポーツをやりたいけど施設が足りないということは、我々としても発信していかなければならないと思います。もう1つは、スポーツに関して言えば、きっかけを作つてあげないと、きっかけがないのではないかなと思います。昨日の研修と関連していたので、また話は別だつたのかもしれませんが、以上です。

宮内議長

はい。ありがとうございます。入江委員。

入江委員

はい。座つたままで失礼します。生涯学習課から説明いただいた中で、資料の2についてです。1ヶ月間意見募集をしたけれど結果は0でつたということ、このようなアンケートは初めてではなくて何度もやられていると思うのですが、これを生涯学習課としてはどう捉えられているのでしょうか。この計画が良いから意見が出なかつたと捉えられているのか。それとも、関心が多かつたから意見が出なかつたと捉えられているのか。どう判断されているのか伺いたつたいと思います。

小森谷生涯学習課長

私から失礼します。パブリックコメントというのは、市で行っているものでかなり数がございます。今回のまなびすとプランと同時期に同じように計画案が示されているものもございました。そちらもやはり意見が0だつたという状

況です。生涯学習課だけの話ではないのですが、特に皆さんの権利関係に関わるような計画の策定ではパブリックコメントの関心が非常に高くて意見が寄せられます。例えば、都市計画の変更案を出した場合、かなりの意見が出てきたりします。ただ、この生涯学習推進計画というのは、皆様の身近に関わるものではありませんが、権利関係を制限したりするようなものではないので、関心は高くはないのではないかと考えています。我々とすれば、たくさんの意見をいただいて、関心を持っていただいて、意見をいただくことは重要だと考えてはいますが、市民の皆様の意見を吸い上げるための手段の1つでございます。先ほど説明にあったように生涯学習推進会議に諮ったり、この計画案を策定した後に、目標値を定めたり、各施策の実績を評価したりするなど計画を変えている場所が何ヶ所かございます。そのようなことを進めていき、この推進計画を皆様に知っていただいて、次の計画策定に生かしていきたいと思っております。今のところはそれほど市民の皆様に浸透していないのではないかとというのが我々の評価でございます。

入江委員

お話いただきありがとうございます。このプランの最初にある「生涯学習」とはの最初の5行を全部読んでみると、私としてはもうこれはみなさんやっているのではないかと思います。0歳児から4歳児が出来ていないとしても、残りの97%の人はやっているのではないかと思います。何もしていない人はいないだろうなという解釈をしてしまうのですね。

でも、実際は18%で、それを25%に今後5年でしていこうというのは、何かギャップがあるような気がしてならないのです。このギャップは生涯学習という中でさらに突き詰めていこうとしているのかなとも思うのですが、そこが私ははっきりとこの中では読み取れないのです。みんながやっついそうなことだけれど、18%を25%にしよう。議長は前回45%ともおっしゃっていましたが、100%にしてもいいのではないかと思います。私のわからないズレがあるかもしれませんが、その辺りはどのようにお考えなのでしょうか。

宮内議長

はい。お願いします。

小森谷生涯学習課長

はい。ありがとうございます。生涯学習をしている市民の割合が18.4%ということについてですが、こちらは設問が「現在、生涯学習をしていますか」という設問でした。先ほど、皆さん生涯学習をやっているのではないかとおっしゃっていただいたと思うのですが、なかなか市民の中に浸透していないのか、生涯学習というと、ちゃんとした教室に通ったりとか、勉強したりとか、そういったことが生涯学習であるという意識があると我々は捉えているのですね。それをこの1ページ目にお示ししたとおり、スポーツの卓球やボランティア活動、テレビを見て何かを実践することも、生涯学習の1つですというように、我々はこの計画をとおして意識を変えていって、市民の皆様が生涯学習に対する理解を深めていっていただいて、「現在、生涯学習をしていますか」という設問に「しています」と答える方をまずは25%にしたいと思っております。先ほどおっしゃっていただいたように100%とすることも可能なのですが、まずは25%を目標にさせていただいて、5年後に市民の皆様の生涯学習に対する意識をもっと高めていくためにこの計画を策定させていただいたという経緯でございます。

入江委員

設問の仕方によって変わりますよね。

小森谷生涯学習課長

おっしゃるとおりだと思います。設問を変えてしまうと、この25%という目標がまた変わってきてしまうので、次に調査をする時の設問についても「現在、生涯学習をしていますか」という形で実施しようと考えています。ですので、市民の皆様の生涯学習の意識をそこに持って行って、高めていくのがこの計画に定めさせていただいた内容でございます。

宮内議長	<p>よろしいですか。今、小森谷課長のお話のように、設問の書き方によって回答も変わってくると思いますので、また検討していただければと思います。加村委員。</p>
加村委員	<p>菖蒲の加村と言います。私は初めてこのような会議に出ますが、第11回生涯学習推進大会に出席をさせていただきました。私たちは小学校とか中学校で子どもたちと関わる活動をしております。別の地域の人たちとか、いろんな知識を持った方とかと交流できればいいなという考えを持っています。ですからこのような活動を見て、これはいいなと思ったのが感想でございます。ここで発表しただけではもったいないですよ。できればそれを地域に返してあげればより大きな力になると思います。話はそれですが、長野県青木村にある児童館には小学生、中学生、高校生、大学生が来てくれるのですよ。そこで活動したり勉強しています。久喜市には放課後子ども教室があります。例えばそういったところで、地域のおじいちゃんやおばあちゃんが顔を出してくれれば、いろいろな組織が楽になると思います。</p> <p>それともう1つ、公民館がコミュニティセンターになるということで、菖蒲の場合は森下公民館が対象となっております。ただ、あの位置に皆さんが集まるのかなとも思います。活動の発表会が寂しいものでした。もう少し広がりがあったらいいと思いましたが、以上です。</p>
宮内議長	<p>ありがとうございます。子どもから大人までということでこのプランでも謳っていると思いますので、今後も推進していければと思います。</p> <p>またコミュニティセンターの活用については、これは市の施設ですので私から申し上げられないのですが、先ほどありましたように取り扱いの方法について、もう少しご検討いただければいいなと思っております。</p>
坂本委員	<p>坂本です。今はSNSの時代ですよ。聞いているとアンケートにしても、1対1のお知らせに思えるのです。やっぱり今は1対nの発信でないと絶対に繋がりません。</p> <p>これは私は最初にも申し上げましたし、何度か市長にもお話させてもらったことがあります。1週間ほど前にテレビでやっていたんですが、商店街の入口に、30か40ぐらいのブースがガラス張りになっていて、お話する方がいて例えばその地域FMの放送局に、放送中、Eメールを送れるわけです。</p> <p>その中で私どもはこういうサークルでこういう活動をしているのですけれども、どこどこでやっていますから、もしお時間あったら1回見に来てくれませんかといった内容や、朝の子どもたちの通学路がガタガタしてつまずいたりして事故が起きそうなので危ないですよといった内容です。このように民間が交通の関係の整備だとか、カーブミラーがよく見えないから角度をつけて直して欲しいといったSOS的な話から始まって、サークル活動の話、ここでいうと市民大学だとか、高齢者大学だとか、放課後子ども教室だとかをもう少しこういうふうにして欲しいだとか。その日は出ていっていませんでしたが出ているかもしれません。これがそんなにお金がかかるとはとても思えないですよ。私は旧久喜地区なのですが、駅前空き店舗を安く買い上げたりすれば、今本当に地域FMというのがコミュニケーションの場になっています。その放送でもオンラインで、アナウンサーのような方と市の人がお話できたりしていました。そういうコミュニケーションのやり方というのは、東京都の小さな23区の中の1つの区や栃木のFM放送がやっているのに、なぜそういうことを久喜市が本気になってやってもらえないのかなと思うのです。予算についてはよくわかりませんが、何百万もかかるような話ではないです。家賃はわかりませんが5万とかです。設備は別に新しいものをすべて揃えるわけではなくて、音楽がかかるようなターンテーブルだとかアンプさえあればできそうですし、申請すればいいだけです。ぜひそういうことをやっていただきたい。1対1では絶対広がりにくいです。このようなFM地域放送というのは、至るところでやりだしています。ぜひ、良いものは真似して検討を始めて欲しいですね。</p>

宮内議長 はい。ありがとうございます。今、地域FMの局を作って、サークルの紹介とか、市について周知していくという坂本委員からご提案ありました。当然、場所や時間がかかるかと思しますので、その辺は生涯学習課で考えていただきたいと思います。杉村委員。

杉村委員 生涯学習推進部の杉村です。生涯学習推進計画というのは、5年間の計画なのです。そこに、ねらい、実施内容、施策が網羅されているわけです。5年間ではありますが、重要なことは年度ごともしくは半期ごとにPDCAを回して、問題点があったら、次の手を打つ。そういうことをやっていくのが非常に重要だと思います。それについて、43ページ「計画の進行管理」に書いてあります。これは従来の推進計画に書いてあったのです。そこに新しく「久喜市生涯学習推進会議を活用するとともに」という文言が入りました。これはどういったことをやろうとしているのか教えていただきたいです。

宮内議長 はい。こちらの43ページの文言について、事務局お願いしたいと思います。

事務局（渡辺） はい。失礼いたします。生涯学習推進会議条例というものが46ページにあり、生涯学習の推進に関する基本的な指針の策定に関することとあるとおり、令和4年度はこちらがメインになってしまったわけですが、令和5年度以降、推進計画に沿って進捗管理をしっかりしていくということになります。ですので、第4章に記されております事業につきまして、成果を皆様にお示しして、ご意見いただいて、またいろいろな課題が見えてくると思います。そういったことについて、幹事会でも協議をして皆様にも提案していろいろご意見いただけていくように進めていきたいと考えております。

宮内議長 よろしいですか。

杉村委員 はい。ありがとうございます。

宮内議長 折原委員。

折原委員 はい。着座にて失礼します。社会教育委員からまいりました折原でございます。「はじめに」の生涯学習について、市民一人ひとりが行う学習のみならず、社会教育や学校教育において、というところがあります。学校教育の部分について、この目次の基本目標4の施策3で「学校・家庭・地域のコミュニティの連携強化」というところが該当する部分であるとお見受けしたところです。実際にそのページを開くと、学校教育の中で、実際に子どもたちと向かい合っている先生方の姿がなかなか見えづらい。働き方改革も叫ばれている中で、この学校や生涯学習を支えていく、現場で戦う若い先生方が長く不在であると感じております。そういったところについて、私も小学校PTAで5年間会長、中学校で2年間会長、高校で2年間副会長をやった中で、管理職の方と関わることが多いのですが、その先生方が地域との関わり合いになかなか出てこないというところへの、何か工夫がこの計画の中にあればご質問させていただきます。

宮内議長 はい、ありがとうございます。学校教育と地域の繋がりということで、なかなか先生との繋がりというのが少ないのではないかと、というご意見だったと思います。

私も小学校の学校運営協議会委員をやっているのですが、昨年に1回だけ先生方と委員の面談をやりました。このように先生方のご意見を取り上げて聞いていこうと思っておりますので、うまく繋がっていければいいと思います。

折原委員

はい。ありがとうございます。異次元の少子化対策が謳われております。

去年の出生者数は80万人をきるというところで、久喜市の子どもたちの人数も、今までにない数になってしまうというのが確定したところであります。高校で驚いたのが、各クラスに副担任が1人ないし2人いるのですね。私は久喜市内の県立高校の例を挙げて申し上げているのですが、何でこんなに違いがあるのだろうか。部活動をやらないでいいよということではなくて、部活動もできるように、教員の方の人数について、ここで決められることではないかと思いますが、地域でもできることがあるのかなと感じました。

宮内議長

はい。ありがとうございます。少子化対策ということで、生まれた人数がもう80万人をきったということで、これから支えていく子どもたちが少なくなっているのは本当に大変なことなのですけれども、各学校でも対策を考えていると思います。

他に何かございますか。よろしいでしょうか。それではこちらの案については今月中に策定予定ですので、事務局は計画どおり進めていただくようよろしくお願ひしたいと思います。

それでは続きまして、(2)第11回久喜市生涯学習推進大会「まなびすと久喜」について、私からご説明をさせていただきたいと思ひます。

お手元の資料「まなびすと久喜 第24号」は広報くき1月号にも折り込みチラシとして入れさせていただいたものです。

また、資料3につきましては、大会の基本方針、テーマ等につきまして記載しております。

令和4年3月に鷺宮総合支所に生涯学習施設「まなびすポット」が開所しました。

生涯学習推進会議や推進部の実行委員会において、合併後の10回の開催を中央公民館及び各文化施設において実施してまいりました。しかし、この2年間、新型コロナウイルスの影響で中止せざるをえない状況に追い込まれたところでございます。このような状況の中、3年ぶりにこの施設を利用してまなびすと久喜を再出発しようということで大会テーマを「新たな挑戦！まなびすと久喜」として準備を進めてまいりました。

また幹事会、実行委員会を開催しまして、推進会議の皆様にも、あるいは実行委員または当日ボランティアとしてご協力をいただいたことに対しましてお礼を申し上げたいと思ひます。

当日はボランティアとして市民大学生、高齢者大学生、中学生、高校生、一般の方々に加えて生涯学習課の職員の皆様方にご協力をいただきましたことに対して、改めて感謝を申し上げたいと思ひます。初めての会場でしたけども、駐車場は支所前、鷺宮公民館の裏、そして第3駐車場と約300台以上確保できたということで、前回まで駐車場問題で苦労してきたのですが、それについては上手くいったと思ひています。

また、各展示に必要な机、椅子、パネル等の備品等もほとんどこの施設に揃っていて、準備できたことは良かったと思ひています。

このような準備を重ねてきて、2月5日当日は風もなく天候に恵まれて、朝から多くの方々に来館されました。今回は1日の日程ということで、前回まで実施していた講演会やパネルディスカッション、また屋外の飲食は中止とさせていただきます。

開会式では市長、市議会議長、県議会議員、教育長をお迎えして、その後、「輝く笑顔 みんなに届け」をテーマとした発表会が行われました。新規の団体をはじめ、13団体が普段の努力の成果を大いに発揮されたと思ひております。

ただ、こちらの会場ですが、以前は議場でございましたので、舞台が狭かったかもしれません。また、音響設備に多少不安があったようですので、今後考えていかなければならないと思ひています。

5階の会場は「ようこそ学びのストリートロードへ」ということで、壁に小学校21校のゆうゆうのパネルを展示いたしました。子どもや父兄の皆さんが

見学されました。

また、通路では啓和会、幸手学園が物品販売を行い、順調な販売売上ができたと聞いております。

5階の各部屋では、久喜市の紹介、生涯学習の紹介として、市民大学・高齢者大学や各校友会について、入学案内と活動紹介のパネルを展示いたしました。

その他、ラウンジではコーヒーやジュースの販売を行い、発表の見学、展示、体験後の一時休憩場所としてご利用いただき、盛況だったと思います。

4階の会場につきましては、会議室3部屋を利用させていただきまして、「わくわく体験&歴史を知ろう」というテーマを設定し、展示等体験コーナーとして実施を行いました。おもちゃの病院の電車展示は子どもたちに人気でした。また、ロボット操作も多くの方々が訪れ、体験していただき楽しんでいただけたのではないかと思います。その他、久喜市の見どころ展示、それから栗橋宿の歴史、中島敦の生涯、折り紙コーナーの体験等が実施されました。今回、初めてポッチャの体験コーナーを設け挑戦していただき興味を持っていただいた方がいて、今後この競技を始めたいという話をされている方もいらっしゃいました。

この大会を通して参加の皆様が少しでも生涯学習に関心を持っていただき、これからの生活に役立っていただければ幸いに思っております。

ただ、問題点についてですが、生涯学習施設は5階のみということでありまして、4階会議室は市の行事が優先される等の事情があり、今回も5部屋のうち3部屋しかお借りできませんでした。2月は確定申告の時期でありまして、2部屋はそちらが使っていたとのこと。開催時期の変更等を考慮する必要があるのでないかと考えております。できれば、4階全ての部屋で展示体験コーナーとして利用できれば、もっと多くの団体参加も見込めると思います。また、今回各部屋の控え室でトラブルがありましたので、5階を発表会のみにするれば利便が図れるのではないかと考えております。

あと、4階と5階の会場間の移動がエレベーターのみということで、多少混雑が見られました。建物の両サイドに階段があるのですが、急勾配なので、高齢者には不便ではないかと制限をしたのですが、こちらも今後また考えていかなければと思っております。

このように新規会場において大会準備を進めてきまして、推進部の人数も少なくなってきましたので、今後はこの推進会議の皆様、そして社会教育委員の皆様のご協力をいただかないと、なかなか開催ができないのではないかと思います。

昨日、市民大学の卒業式がありました。卒業生は14名おりましたけれども、1年生は11名ということで、だんだん減ってきております。

そんな中、ぜひ皆さんにも生涯学習推進部に入っていて、こういった活動をやっていただきたいということをお願いしているのですが、なかなか思うようには進んでおりません。今後も皆さんのお手伝いをいただいて、実行していかなければいけないと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

今回、ケーブルテレビ久喜が当日の様子をYouTubeで公開しております。5分程度ありますので見ていただければと思ひます。

<ケーブルテレビ久喜の映像を視聴>

今ご覧いただいたようにケーブルテレビ久喜で放送されました。また、今日の資料3の裏になりますが、埼東よみうりの2月17日号に記事として出ておりますので、ご覧いただければと思ひます。

このような形で宣伝等をしていただき、成功裏に終わったのではないかと自負しているところでございます。ここで推進会議の皆様にもお手伝いいただいておりますので、もしよろしければご感想をお願いしたいと思ひます。

折原委員、受付のご協力いただきましたけれどもいかがでしょうか。

折原委員	はい。当日受付を担当させていただきました。参加される方も生涯学習に対して、意欲的な方が多いこともあり、非常に楽しい時間を過ごさせていただきました。受付としてはスムーズな形で行うことができました。ありがとうございました。
宮内議長	はい、ありがとうございます。影山さんいかがですか。
影山副議長	私は弁当配布係と巡回をやらせていただきました。弁当に関して言えば、実は例年非常に多く余ってしまうといますか、忙しくて弁当を取りに来れない方が多かったのですが、今回は実行委員の方々が綿密に計画を立てていただいたおかげで、取りに来れなかった方は1桁台でした。これは実行委員の方々のおかげなのかなと思いました。 あと、今日多分最後に閉会のあいさつをしなければいけないと思うので、考えていたのですが、資料3を見ていて、小学校21校のゆうゆうのパネルがあると書いてありますが、これを作るのは大変なのですよね。先生方やゆうゆうの方々が協力して作ってくださっているのだと思い、ご苦労に思いを馳せました。あと最後になりますけど、ボランティアで来ていただいた中学生や高校生もこれがきっかけになるのではないかと感じました。
宮内議長	ありがとうございます。加村委員、駐車場関係はいかがでしたか。
加村委員	駐車場係をやらせていただきありがとうございました。1つだけ気になった点があります。散歩している一般の方7、8人に何をやっているのか聞かれました。そのうち3人くらいが中に入ってくれました。できれば、会場近くはかなり綿密に先導したほうがいいかなと思います。地域の人に来てくれるかなと思いました。
宮内議長	はい。ありがとうございます。一般の方はぜひ入っていただくように、会場の周りに宣伝する必要があると感じました。ありがとうございます。 木村委員、ボランティアご協力いろいろいただきましたが、いかがでございますか。
木村委員	鷲宮高校の木村でございます。当日、本校の生徒がボランティアということで、ブース発表のお手伝いであったり、それからこのステージの司会を務めさせていただきました。こういうボランティアの機会というのがこのコロナで、ほぼ失われていた3年間だったわけです。そういった中で、久しぶりにこの地域の皆さんのこのイベントでボランティアをやらせていただけたというのは生徒にとって非常に貴重な体験だったかなと思います。地域の人と触れ合うことでいろんな体験をすることが学校教育に必要だと思っておりますので、こういった機会を広げていきたいなと思っております。本当にお世話になりました。 また、司会ですが、最初始まったときは大丈夫かなと思って見ていたのですが、午後には大分慣れてきて、良い経験をさせていただいたかなと思っております。以上でございます。ありがとうございました。
宮内議長	ありがとうございます。地元の高校ですのでボランティアのお願いをいたしました。司会の担当につきましては、もっと打ち合わせをしようと思っております。望んでおりますので、今後はぜひそんな形で進めていければと思っています。ありがとうございました。桐原委員はおいでになりましたか。
桐原委員	ロボットクラブの方で参加しておりました。
宮内議長	佐藤委員、受付をお願いしましたがいかがでしたか。

佐藤委員	5階のフロアで受付をしていたのですが、2ヶ所受付があったので、来庁者がわかりづらかったのが反省点ではあるかと思います。それから、出演された方も何組か見させていただきました。もう少し広く周知して、もう少し人を呼べるような方が出演していただけると、より集客率も多くなるかなと思いました。以上です。
宮内議長	はい。ありがとうございます。出演者もレベルアップさせていかななくてはいけないのですが、なかなか難しいところもあるかと思います。高橋委員。
高橋委員	1階で体温を測り、消毒を皆様に協力していただきました。ただ、エレベーターの前でやっぱりどうしても溜まってしまって、なかなかスムーズに誘導できなかったかなど。あと、孫が発表するのだけど、おばあちゃんを人がたくさんいるところに長くいてほしくないの、どこか待機できる場所がありますかという問い合わせが何回かありました。説明が難しく、結局、車の中で待機させますっていうことで、大変申し訳なかったかなと思います。その辺を次回検討していただけたらなと思います。
宮内議長	はいありがとうございます。1階はコロナ感染対策ということで体温と手指の消毒をお願いしておりました。それから、エレベーターは1度に数人しか乗れないので混雑をしたと聞いております。あと、1階に待機や休憩ができる部屋が必要ということで、今ご提案いただきました。今後の大会については考えさせていただきたいと思います。ありがとうございました。中村委員いかがですか。
中村委員	はい。私は当日、5階の参加団体の受付をさせていただきました。佐藤委員がおっしゃられたように2つ受付があったので、少し混乱をしてしまった部分があったように思います。それから社交ダンスを発表する方が更衣室を使うとき、男性女性が分けていなかったのですね。お化粧品、メイクなんかもするので、その部分が課題だったのではないかと思いました。以上です。
宮内議長	はい。ありがとうございました。受付で混乱された方がいるかと思います。あと、更衣室での男女別というのも考えていなくて、各団体の方たちに1部屋用意するという形でやっておりました。今後そちらを検討させていただきたいと思います。野口委員はおいでになりましたか。
野口委員	三箇ゆうゆうとしてヒップホップダンスを踊らせていただきました。当日は校長先生も来てくださったり、もちろん保護者の方も見ていただいたりして、とても良かったです。けど、練習の時間があまりなかったもので1曲しか踊れませんでした。1曲でも大きな拍手をいただきましたが、他の団体の発表を見ていると長かったので何分やっているのかと思ったら20分ぐらいやっておりました。それを知りませんでした。持ち時間によっては、来年もし出させていただけのだったら、もう少し時間をフルに活用して、何か他のものも披露できたら良いなと思いました。ありがとうございました。励みになりました。
宮内議長	お子さんたちが見えますと、それこそお年寄りの方も来て来場客も多くなりますね。ありがとうございます。 今、ご参加いただいて皆さんからお聞きしたのですけれども、今後また検討しなくてはいけない事項が出てきました。次回の大会もこちらの会場でやってみようと考えているので進めていきたいと思っています。 他に何かご意見ございますか。坂本委員。
坂本委員	質問というよりはかはお礼になります。CATV久喜の件を早速ご対応していただいて、この会議の中で出した意見がこんなに早く実現できて良かったです。本

当にありがとうございました。私はボランティアには出席できなかったのですが、その日は個人的にやっているライブコンサートをしていまして、そこにCATVを呼ぼうとしたら、このまなびすと久喜に行くと言われました。

それで次の意見ですが、こういった高齢者大学の内容ですとか、各サークルや同好会で行っていることをCATV久喜をお願いしてどんどん利用されたいかなど。

それともう1つ。例えば交通企画課や、学校で実施している春の交通安全運動や、秋の交通安全のパレードなどもCATV久喜をどんどん使っていけば良いと思います。最初から前回も言っておりますが、一対nというのは非常に効果があるかな。私もこれはすぐ見ました。契約していなくてもYouTubeであれば全世界で見られるわけですので、久喜や鷺宮出身の方が地方や海外で見ることができたりします。ぜひこういった一対nというツールを使ってほしいなど。他にも、例えば学校の先生たちにもパッドやクラウドを使ってもらったり、市の中でやられている最先端の取組みについてCATV久喜を呼んで、YouTubeにも載せれば、久喜市の保護者の方の参考になってどんどん広がると思います。まだまだ先生方に対してのノウハウの教育や、システムエンジニアが民間から派遣されていることも不十分だと思いますので、これを機に久喜市役所としてもこういった情報発信ができれば良いと思います。お礼を申し上げます。ありがとうございました。

宮内議長

ありがとうございます。ケーブルテレビ久喜についてですが、私も当日、取材に来ていることを知りました。予めもっと前から宣伝しておけば良かったかなと思います。ありがとうございました。

他にいかがでございましょうか。よろしいですか。

以上ですべての議事が終了しましたので、議長の任は解かせていただきます。皆様のご協力ありがとうございました。

小林主幹

宮内議長ありがとうございました。

それではお手元の次第に基づきまして、4 その他でございます。事務局からお願いがございます。本日、久喜市市民大学と高齢者大学の新生募集のチラシを配布させていただいております。両大学の募集が3月17日までとなっております。もし、委員の皆様のお知り合いの方に勧めていただく機会がございましたら、チラシを何部かご用意しておりますので、ご協力いただけたら幸いです。入口に置いてありますので、お帰りの際にお持ちいただければ大変助かります。

その他、委員の皆様から何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、長時間にわたりまして、委員の皆様にはご協議をいただきまして誠にありがとうございました。令和5年度の会議につきましては、日程等が決まり次第、ご連絡をさせていただきたいと存じます。それでは閉会にあたりまして、影山副議長にごあいさつをお願いいたします。

影山副議長

<影山副議長あいさつ>

小林主幹

どうもありがとうございました。

それでは皆様、本日はどうもいろいろ長時間に当たりましてありがとうございました。お気をつけてお帰りいただければと思います。

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和5年3月31日

議長 宮内 智